

平成 25 年度第 3 回北海道入札監視委員会 開催結果

日 時 平成 26 年 2 月 5 日 (水) 10:00 ~
場 所 道庁別館 9 階 第 3 研修室

(委員会次第)

- 1 開 会
- 2 報告事項
(1) 平成 25 年度入札契約執行状況 (平成 25 年 9 月末)
(2) その他報告事項
- 3 審 議 (抽出審議)
渡島総合振興局東部及び西部森林室発注案件
- 4 閉 会

平成25年度 第3回北海道入札監視委員会 出席者名簿

委員 長	吉岡 征雄
委 員	伊勢田 和幸
委 員	大野 由夏 (欠席)
委 員	蟹江 俊仁
委 員	齊藤 揮誉浩
委 員	肘井 博行

五十音順、敬称略

関係各部局出席者

所属	職	氏名
農政部農村振興局事業調整課	課 長	西山 宰
"	主 幹	富岡 尊志
"	主 査	菊池 祐二
水産林務部総務課	主 幹	金崎 伸幸
"	主 査	米屋 鶏太
建設部建設管理局建設情報課	課 長	高瀬 浩
"	主 幹	佐藤 克幸
"	主 幹	早川 友浩
"	主 査	北本 幸徳
"	主 査	有馬 純生
建設部建築局計画管理課	課 長	喜多 睦夫
"	主 幹	玉田 甲
"	主 査	田所 優花
出納局総務課	課 長	原田 隆之
"	主 幹	川田 和明
"	主 査	阿保 恵一
渡島総合振興局東部森林室森林整備課	課 長	飯田 彰博
"	係 長	小林 真吾
渡島総合振興局西部森林室森林整備課	課 長	沼崎 忠幸

事務局

所属	職	氏名
総務部行政改革局	次長兼局長	坂本 和彦
総務部行政改革局行政改革課	課 長	濱坂 真一
"	主 幹	宮澤 宏
"	主 査	三浦 哲晃

平成25年度第3回北海道入札監視委員会議事録

1 開会

(事務局)

予定の時刻を少し過ぎていますが、ただいまから、平成25年度第3回入札監視委員会を開催いたします。

本日は、大野委員が都合により遅れておりますが、現時点で委員会設置要綱に定める開催要件を満たしていることをご報告いたします。

それでは、これからの議事の進行につきましては、吉岡委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

2 報告事項

(1) 平成25年度入札契約執行状況(平成25年9月末)

(吉岡委員長)

それでは、報告事項の1番目「入札契約執行状況」についてご説明願います。

(事務局)

【資料1-1に基づき説明】

(肘井委員)

3ページの指名競争入札の合計は94.5%で発注3部の落札率と同じになっていますが、その他は99.7%なのになぜ94.5%になるのか。また同じく前年比が1.0%の上昇になるのか説明してください。

(事務局)

資料の5ページを見ていただけるとわかるかと思いますが、発注3部の指名競争入札の件数が301件、その他の指名競争入札の件数が1件となっています。発注の件数が発注3部の方が多いのでこういう結果になっております。

(肘井委員)

件数が1件しかないの、ほぼ影響がでないということですか。

(事務局)

はい。

(吉岡委員長)

4ページの制限付き一般競争入札の総合評価の実施率で、農政部は37.8%、水産が5.9%となっていて、指名競争入札を含めても農政が37.0%、水産が5.9%となっている。開きがあるのは悪いわけではないが、何か理由はありますか。

(事務局)

一般競争入札の件数に対する総合評価の発注割合になっていますが、各部ごとに総合評価方式を採用する工事が決まっていますので、こういう開きが出てきます。また、工事の

難易度などもありますので、どの工事を総合評価方式の入札にするかは各発注機関が決めているところです。

(吉岡委員長)

何%がいいとか悪いとか言うつもりはないですが、土木と農政が高い比率で、他は若干低いという状況の理由があれば、総合評価に付するかどうかというのは各発注部門で決めるというならば、基準が部門ごとで違うのがいいのかどうか。違っていてもいいのかもしいし、違っていると公平性に欠けているということになるのかもしれない。その辺を検討していただければと思います。

(事務局)

工事の種類もあると思いますので、基準の違いなどを整理いたします。

(吉岡委員長)

基準が違う場合、その基準自体が合理的なのかどうかを説明できないとならないと思います。

(蟹江委員)

3ページの指名競争の落札率が99.7%となっていて、件数は1件しかないからこの数字というのは理解したのですが、1ページ目の発注部門別平均落札率のその他で25年度本庁は99.8%とあります。先ほどの99.7%とは違うので、どう見ればいいのか。その他というもののすべてを平均してもなりそうもないし、1件しかないとなるとどういう計算をしているのか、また、1ページの最下段の表のその他合計の落札率が91.6%と出ていますが、本庁、振興局、企業局とみていくと、99%、96%といずれも高い数字で、北海道警察が90.1%、これに引っ張られていると思うのですが、この計算をするときに件数ごとに平均落札率を単純に算術しようとするのか、調達予定額を全部足して実際にかかったお金で割り算をしているのか、どちらで計算しているのですか。北海道警察に引っ張られているとすれば、北海道警察が発注する金額が非常に大きいから91.6%に収まったのか、北海道警察の件数が非常に多いから91.6%になったのか、教えてください。

(事務局)

北海道警察の発注件数は、5ページ目の一番下で107件あります。その他全体でも161件です。

(蟹江委員)

数で算術平均をするのと金額ベースで算術平均するのとでは違うのかもしれない。これはどちらで計算していますか。

(事務局)

件数です。

(蟹江委員)

金額ベースでの数字はお持ちではないですか。

(事務局)

これまでの委員会に報告しているものもこの計算で行っていますので。

(蟹江委員)

この資料だけを見たときに件数だけを見て91.6%だけでも、実際金額ベースで見たとくにもっと上なのですとなると誤解を招く恐れがあるので、金額ベースの数字を抑えていた方がいいと思います。

(吉岡委員長)

数字の出し方を少し検討していただければと思います。

(事務局)

過去には、高い率で落ちたものの調査もありましたので、その辺も踏まえながら、対応を考えたいと思います。

(肘井委員)

先ほどの報告の数字を見てまだ影響はないのかもしれませんが、今朝のラジオのニュースで関東近県の自治体で入札がそもそもできなく、その原因は下請けを中心とした人件費が2倍くらいになっていて、そういうものが影響している。そして、東日本大震災の関係で作業員が引っ張られる、また、東京オリンピックの関係で作業員が引っ張られる状況で、ますますそういう状況が進行していくのではないかという解説がありました。今日の報告は9月末までですが、そういう兆候が道内の自治体でも見られるのか情報をお持ちでしたら教えてください。

(建設部)

建設部ですが、建設部発注に関しても不調や不落が多くなっております。それには、いろいろな要因があると思いますが、事業が増えますと選ぶということも出てきますし、人も地方の建設業協会等を回りますとやはり人が逼迫しているという状況も聞いています。これは被災地ほどの状況ではありませんが、やはり逼迫している状況にあります。それに対応するため2月からの適用で設計労務単価を上げたり、いろいろ対応をしてスムーズに使用していただけるように全国的な取組をしているところです。

(吉岡委員長)

今の質問に関連して、確かに労務と機械の単価が上がっているから不調の案件が何もしなければ増えることは確かなので、基準を算定の段階でどう考えるかという問題が一つあるのと、不調の件数が増えることは仕方がないが、工事ができなくなる場合があるので、今年から来年にかけてきびしいと思いますし、開発でも問題になっていますから、工事の優先順位をつけるなどをお考えいただいた方がいいと思います。市町村はもっと苦しい状況であると思いますし。

(2) その他報告事項

(吉岡委員長)

それでは、その他報告事項について、ご説明願います。

(事務局及び出納局)

【 資料2に基づき説明 】

(齊藤委員)

新旧対照表の3ページのEに「この場合において、当初の事情聴取で得られた情報に基づき聴取事項を設定し、」とあるのですが、その意味するところは何ですか。

(出納局)

新たな証拠ということで、どういう情報が出てくるのか、この規定を作る段階では想定できないことから、新たな情報に基づき、例えば さんから談合を持ちかけられたというのであれば、それに対応した項目を設けて聞いてほしいという趣旨でございます。又はどこそで談合の集会あったという情報であれば、 に行ったことはありませんかなどの聴取項目になると思います。そのようなことから、再度事情聴取を行う時点で聴取項目を設定してほしいという趣旨でございます。

(齊藤委員)

聴取して得た情報でポイントを絞って聴取してほしいという意味合いでここに一行入っているということですか。

(吉岡委員長)

抽出審議に入りたいと思いますので、事務局は準備をお願いします。

(事務局)

抽出審議につきましては、北海道入札監視委員会の設置要綱第4の5の規定によりまして非公開となっております。抽出審議関係者以外の方は退出されるようお願いいたします。委員の皆様はしばらくお待ちください。

3 審議

抽出審議 渡島総合振興局東部森林室及び西部森林室発注案件

渡島総合振興局東部森林室発注の契約2件と同じく西部森林室の契約2件について、入札手続や契約の状況などの説明を行った。

委員会からは、入札書の投函期間や設計図書の質問期間の質問があり、今後改善を行う。また、公表する文書の記載誤りがあり、記載の正確性を求められた。

(了)